

日帝権力一公団による5・6三里塚鉄塔破壊 5・8東山氏虐殺弾劾

# 革命的報復戦の貫徹を！

游 撃

共産主義者同盟政治機関紙

号 外  
1977.5.14

定価 50円  
晋社 沢谷便4  
人所 東京0-195783  
行行 箱  
發發 千私  
連 振替 10回2000円(開封・送料共)  
振替 2500円(密封・送料共)

☆ 帝国主義、心臓部にプロレタリアートの総蜂起を！  
主義・社会排外主義と対決して世界革命の最前線へ！  
転化せよ！

## 七七『開港』策動を爆碎せよ！

### 機動隊の弾圧網寸断し人民の反撃大高揚

われわれは憎むべき日帝・公団による五月六日早朝抜きうち三里塚鉄塔破壊を満腔の怒りをこめて弾劾するとともに、更に五・四日にわたる革命的報復戦の大爆発を発展させ、連続的大攻撃を強めねばならない。敵権力によるこの反革命大暴挙に対しても、六日早朝より、反対同盟を中軸とした戦闘的労農学のこれを數十倍数百倍する大攻勢が開始された。三里塚闘争十二年間の闘いの蓄積の一切が、怒りの鉄槌となり、憎みの炎となつて三里塚現地を巨大な一個の戦場化し、文字通り全国を揺るがす革命的政治闘争を現出させた。だがこの激闘の中、日帝権力は、革命的労働者東山氏を虐殺し去つたのである。我々は誓う。我々は戦士虐殺に対する、そして鉄塔破壊革命大暴挙に対する、日帝権力・公団への革命的報復戦を貫徹する。

この四日間の流血の激闘は、今日の日本階級闘争の革命的成熟を突き出すとともに、今や全国の労働者階級人民の革命的決起を着実に引き出しつつあり、我々は九・一六戦闘の継承發展の質をもつて日帝権力・公団への革命的報復戦を貫徹し、総蜂起路線の下に前進するプロレタリアートの革命的号砲をどうかねばならない。

### 憎むべき鉄塔破壊の大暴挙

日帝権力・公団による抜きうち反対同盟農民の十二年間にわたる鉄塔破壊反革命大暴挙は、三里塚 営々たる闘いと、これと結合した帝公団、そして千葉地裁(渡辺桂)とされた「現場検証」といつわり、

全国の戦闘的労農学の丸、そして一他二名の裁判官)が、一片の通制に心底恐怖し追いつめられたそし結集した二万五千余のその戦闘体に告もないまま仮処分執行を强行し、あまつさえ五六・六未明敵権力は四千人の機動隊を配置し、岩山大鉄塔への「航空法違反容疑」を名目とした「現場検証」といつわり、止闘争をもつていよいよ全国的挺抗化し、日帝国家権力と日本プロレタリアートとの全面対決の大

〇年化後半の実力闘争に引きづき、七年第一次第二次収用阻

止闘争をもつていよいよ全国的挺

抗化し、日帝国家権力と日本プロ

レタリアートとの全面対決の大

戦闘争をもつていよいよ全国的挺

抗化し、日帝国家権力と日本プロ

